

高校生議会 ～住み続けたくなるまち 盛岡市を目指して～



選挙権年齢の引き下げに伴い、若者の選挙や政治、市政への関心を高めることを目的として、11月1日に高校生議会を開催しました。盛岡市立高校18人、盛岡第二高校6人、盛岡商業高校11人の総勢35人が高校生議員として参加しました。

高校生議員の提言

子ども・子育て委員会

- ・公園にサッカーゴールなどを設置し、屋内レジャー施設に身体を動かすゲームなどを開設すること
- ・学校や町内会が協力し安全マップを作成し市民へ周知することや街灯の整備などを進めること
- ・通学路の損傷に関する通報機能のさらなる周知や不審者情報の共有機能を新設すること

公共交通委員会

- ・運転手の待遇改善に市が積極的に関与することや自動運転バスを採用すること、運転免許取得年齢の引き下げ、運転手の魅力向上などに取り組み、バスの運転手不足を解消すること
- ・他校との合同利用などバス乗車率の向上に努め、滝沢方面も含めて、スクールバスを復活すること

農商工連携委員会

- ・市内近郊に道の駅などを建設し、地産地消を促進すること
- ・空き家を活用した住居の提供と情報発信を進め、新産業創出を試みる人が移住しやすくなること
- ・労働者不足解消などのため、市内労働者の副業を推進すること
- ・地元で働く人材を輩出するため、盛岡市立大学を創設すること

環境保全委員会

- ・全てのスーパーなどでの「てまえどり」を推進する広報活動と企業との連携を行うこと
- ・規格外品を扱う産直マップの作成により、産直のメリットの周知を促進すること
- ・野菜を再利用した絵の具の利用や絵本による幼児児童へのフードロスの教育機会を創出すること

議長・各委員会インタビュー



子ども・子育て委員長
わたなべ つくは
渡邊 紡珀さん

議会とは、堅苦しい雰囲気の中で、議案に対して意見する場だと思っていましたが、発言や意見がしやすく、しっかり議論して決定していくことに感心しました。盛岡は、子ども・子育て施策が充実していると思いました。



高校生議長
こなり だんのしん
小成 暖之心さん



公共交通委員長
わたなべ れん
渡邊 錬さん

この委員会に参加したのは、住んでいる地域から高校に行くためのバスがなく不便に感じていたからです。普段は大人と話す機会が少ないので楽しかったです。今日のことを知ってもらい、中高生も市政に参加して欲しいです。



農商工連携委員長
おがわ みお
小川 海緒さん

商業に特化した視点や高校生の視点で考えることができました。次回参加者には、学校で学んだ知識を生かしたデータを分析して欲しいです。今後は、市内だけでなく県内の高校生と意見交換ができる機会があると良いと思いました。

議長を経験できるならと思い参加しました。議員の皆さんは気さくで話しやすく、質の高い議論をすることができました。課題解決は簡単ではありませんが、自分と異なる意見があるのだという発見がありました。



環境保全委員会
委員の皆さん

授業でフードロスの影響の重大さを知ったので、盛岡でも対策ができないかと考え提案しました。参加してみて、まちづくりは地球環境を守ることにもつながっていることを実感しました。

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、20日の本会議において報告しました。

総務 常任委員会

6年度一般会計補正予算、盛岡市市税条例等の一部改正など議案37件について審査しました。審査の過程で、大雨災害復旧に係る補正予算計上の内訳と積算根拠、次期総合計画の基本構想の内容や議員報酬の期末手当改定などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第172号】

盛岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

問 7年度予算のマイナス8%シーリングもあり、本市の厳しい財政見通しの中で、議員の期末手当を引き上げる判断をした理由は。

答 本市の中期財政見通しなどで財政状況が厳しいことは承知しているが、これまでも国や県、一般職の改定状況を勘案し行ってきたところであり、今回は県では改定が、国では引き上げが見込まれるため、改定を行うこととしたものである。

教育福祉 常任委員会

6年度一般会計補正予算など議案24件について審査し、いずれも可決すべきものと決まりました。また、新規請願4件および継続審査中の請願3件を審査し、2件は採択すべきもの、3件は不採択とすべきもの、2件は引き続き調査検討を要するため、継続審査と決まりました。

【議案第171号】

令和6年度盛岡市一般会計補正予算（第7号）

問 原油価格などの高騰による、生活困窮世帯への灯油購入費などの助成金の速やかな実施が望まれるが、支給までのスケジュールは。

答 プッシュ型による支給を予定しており、7年1月10日頃に対象者にお知らせを送付する。市で支給口座を把握している対象者には支給する口座をお知らせに記載し、その後、口座変更などの申出期間を10日間ほど設け、1月末には支給したいと考えている。

もりおか mirai おでかけミーティング

11月13日に盛岡大学、11月14日に岩手大学、11月18日に岩手県立大学で「もりおかmiraiおでかけミーティング」（通称「もりmirai」）を開催し「盛岡市の10年後の未来」をテーマに大学生と意見交換を行いました。

高校生議会やもりmiraiの当日の様子は、市議会ホームページにも掲載しています。



盛岡大学



○参加者 学生17人 議員12人



議員の皆さんが気軽に接してくれて、最後まで楽しく参加できました。インターネット上で若者が熟慮でき、しっかりと判断して投票できるような情報の提供と、今回の意見を市政に反映してもらえることを期待しています。

柴田 穂央さん

以前からボランティア活動の一環で議員との接点はありましたが、この会に参加して、意欲的に意見を収集し、発言しやすい雰囲気を作り出しているという、これまでと違う一面を見ることができました。

三田地 大介さん

岩手大学



○参加者 学生19人 議員12人



地方公務員を志望しており、地方の行政に関わる人の思いや考えを知るために参加しました。盛岡の良さや子育てなどについてより深く知ることができました。学生の意見を議員ともしっかりと深く話し合う場があれば参加してみたいです。

高橋 心花さん

短い大学生活の中でも住む場所は大きな意味を持つという気付きになり、将来盛岡で学生生活を送る学生にとっても住みやすい街であってほしいです。自分の考えをアウトプットでき、議論の大切さを実感する機会になりました。

加藤 汰一さん

岩手県立大学



○参加者 学生21人 議員12人



「市民はこんな風に思っている」というところから市政の問題の解決策を出していくのが面白かったです。私はイベントの主催者側になることも多いので、やりっぱなしではなくフィードバックする大切さもワークの中で感じました。

佐藤 颯香さん

私の思う議員像は、堅苦しく話が長く、自分とは主張が違う人たちというイメージでしたが、私たちの意見に耳を傾け、考え方や自分の意見について助言してくれる姿とその内容に新鮮さを感じました。

小原 茉菜さん

産業環境 常任委員会

盛岡市市税条例等の一部改正、サンライフ盛岡の管理を行う指定管理者の指定期間の変更など議案8件について審査しました。審査の過程で、サンライフ盛岡の指定管理者を公募ではなく指定期間の延長とする理由などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第156号】 サンライフ盛岡の管理を行う指定 管理者の指定期間の変更について

問 サンライフ盛岡の管理を行う指定管理者を、公募ではなく、現在の指定管理者の指定期間を延長とすることとした理由は。

答 指定管理者制度に基づく総括評価として、2年度から4年度の評価を行い、コロナ禍でも新たな利用者の開拓による利用料金収入を確保したことや駐車場の区画線を見やすい色に変更するなど、利用者へのきめ細かなサービスを行っていることなどを評価した。

建設 常任委員会

6年度一般会計補正予算、民事調停の申立て及び調停不成立等の場合における訴えの提起など議案9件について審査しました。審査の過程で、道路除排雪に係る予算要求の方針や岩手公園の管理内容と現状などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第105号】 令和6年度盛岡市一般会計補正 予算（第6号）

問 道路除排雪予算を、12月になって補正予算に追加計上した理由は。

答 11月19日に国が発表した3カ月予報から、本市の降雪が増える予想し、増額補正を計上した。これまで、気象予報により補正計上をしたことはなかったが、今後も降雪に関する気象予報を把握しながら必要な補正予算を計上し、市民が生活する上で困らないような除雪に取り組む。